

決算説明会

2012年3月期第3四半期

2012年2月3日
ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

取締役 専務執行役員 加藤木 洋治

東日本大震災、レアアース高騰、円高、タイ大洪水などで減収減益

3Qに特別損失計上で純利益は赤字に

(百万円)	2011年3月期 1Q - 3Q累計	2012年3月期 1Q - 3Q累計	前年同期比 伸び率
売上高	205,195	189,164	-7.8%
営業利益	17,969	6,903	-61.6%
経常利益	16,653	5,356	-67.8%
純利益	10,649	△285	N.M.
一株当たり 純利益 (円)	27.86	△0.75	N.M.

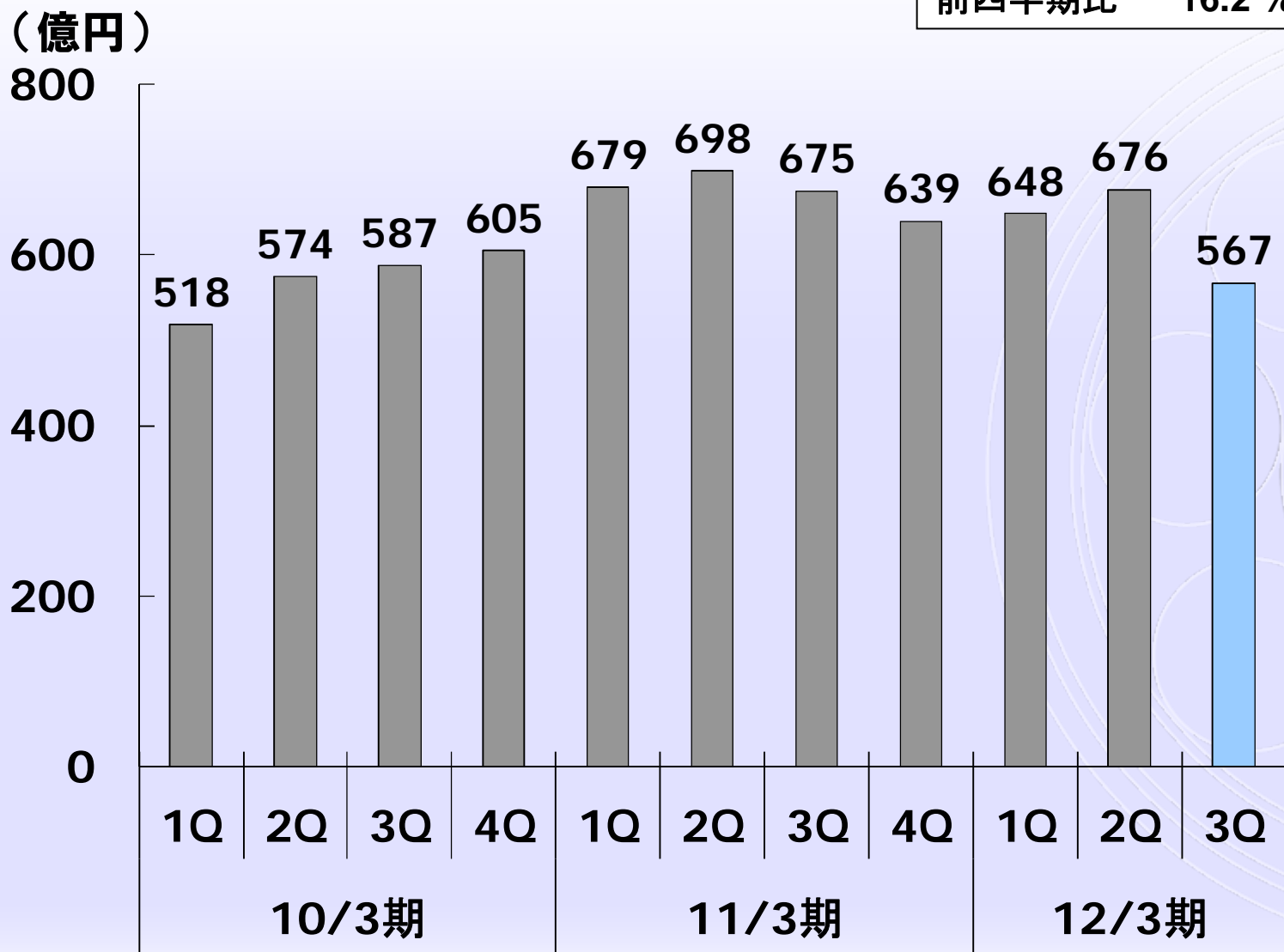
為替レート	11/3期 1Q - 3Q累計	12/3期 1Q - 3Q累計
US\$	87.46円	79.33円
ユーロ	114.11円	112.50円
タイバーツ	2.77円	2.60円
人民元	12.91円	12.30円

タイ大洪水によるサプライチェーン混乱で大幅な減収減益 特別損失の計上で純利益は赤字に

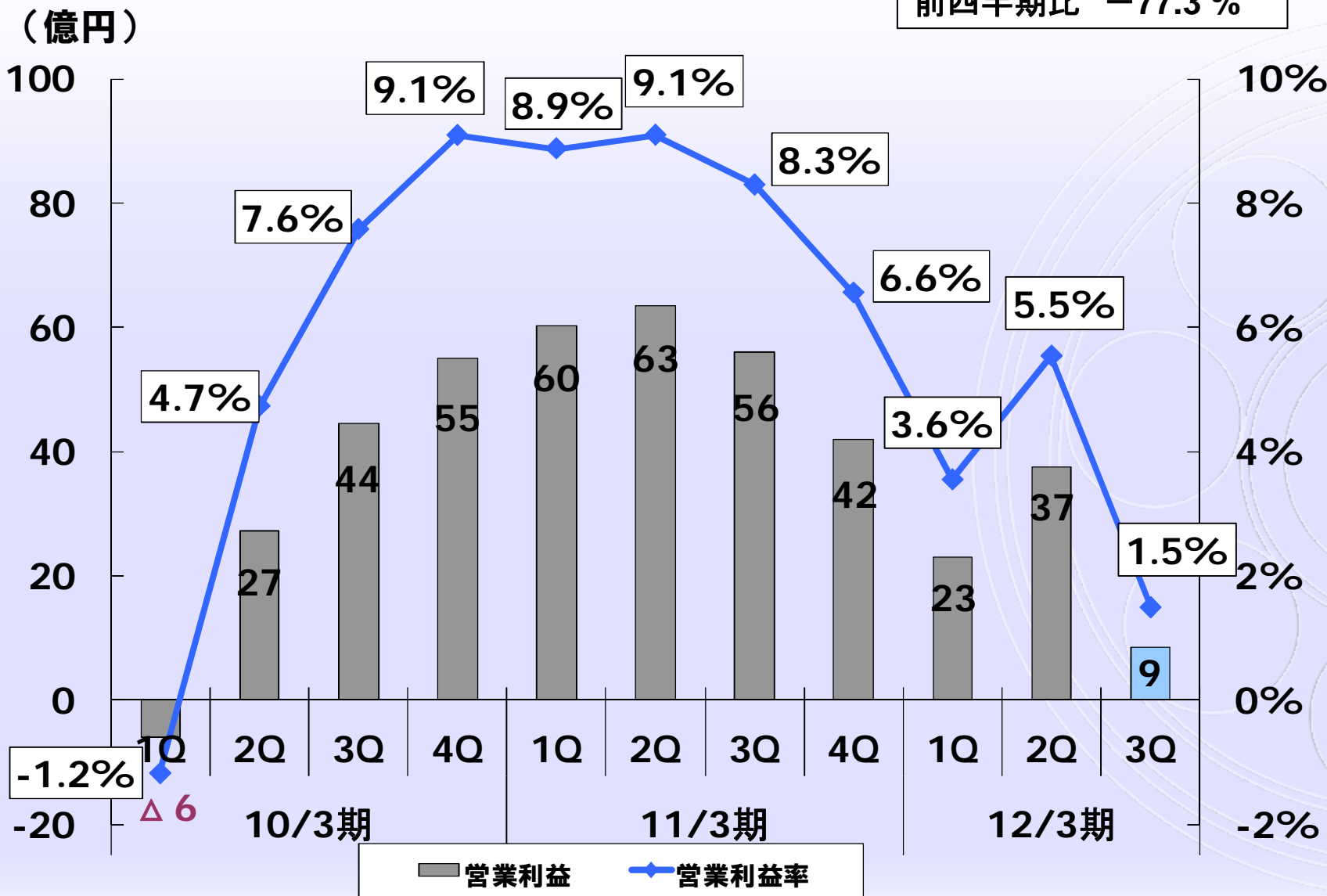
(百万円)	2011年3月期	2012年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	3Q	2Q	3Q		
売上高	67,500	67,646	56,716	-16.0%	-16.2%
営業利益	5,597	3,749	850	-84.8%	-77.3%
経常利益	5,117	3,162	323	-93.7%	-89.8%
四半期純利益	3,331	2,100	△3,055	N.M.	N.M.
一株当たり 四半期純利益(円)	8.71	5.56	△8.07	N.M.	N.M.

為替レート	11/3期3Q	12/3期2Q	12/3期3Q
US\$	82.99円	78.44円	77.51円
ユーロ	112.50円	112.98円	105.99円
タイバーツ	2.75円	2.59円	2.50円
人民元	12.40円	12.18円	12.16円

前年同期比 -16.0 %
前四半期比 -16.2 %



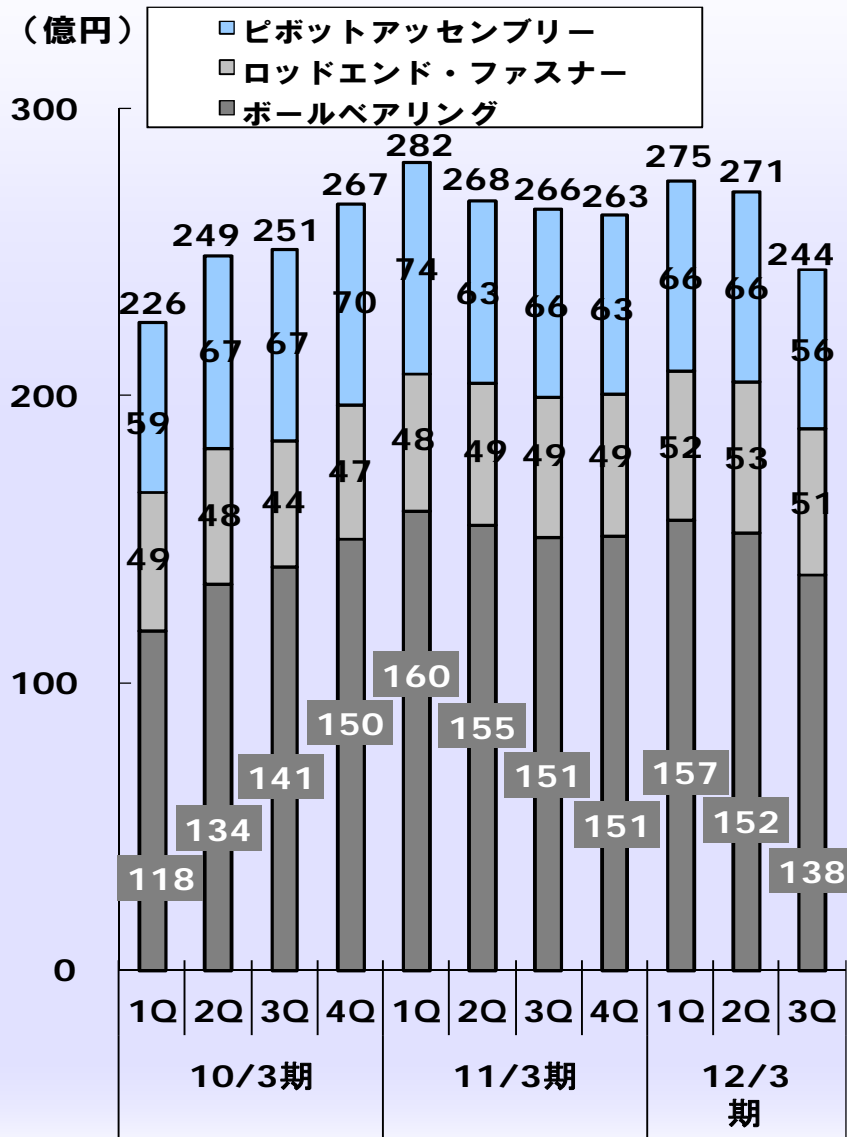
前年同期比 -84.8 %
前四半期比 -77.3 %



※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

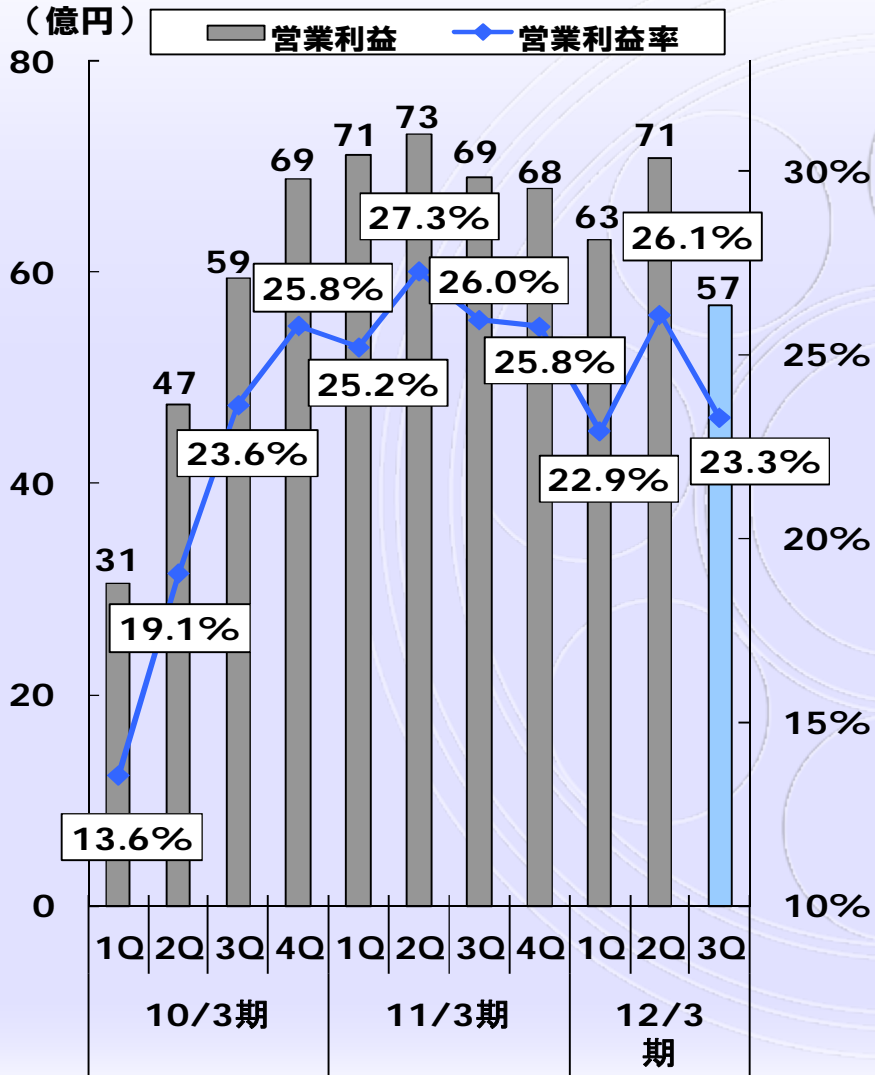
売上高

(億円)



営業利益

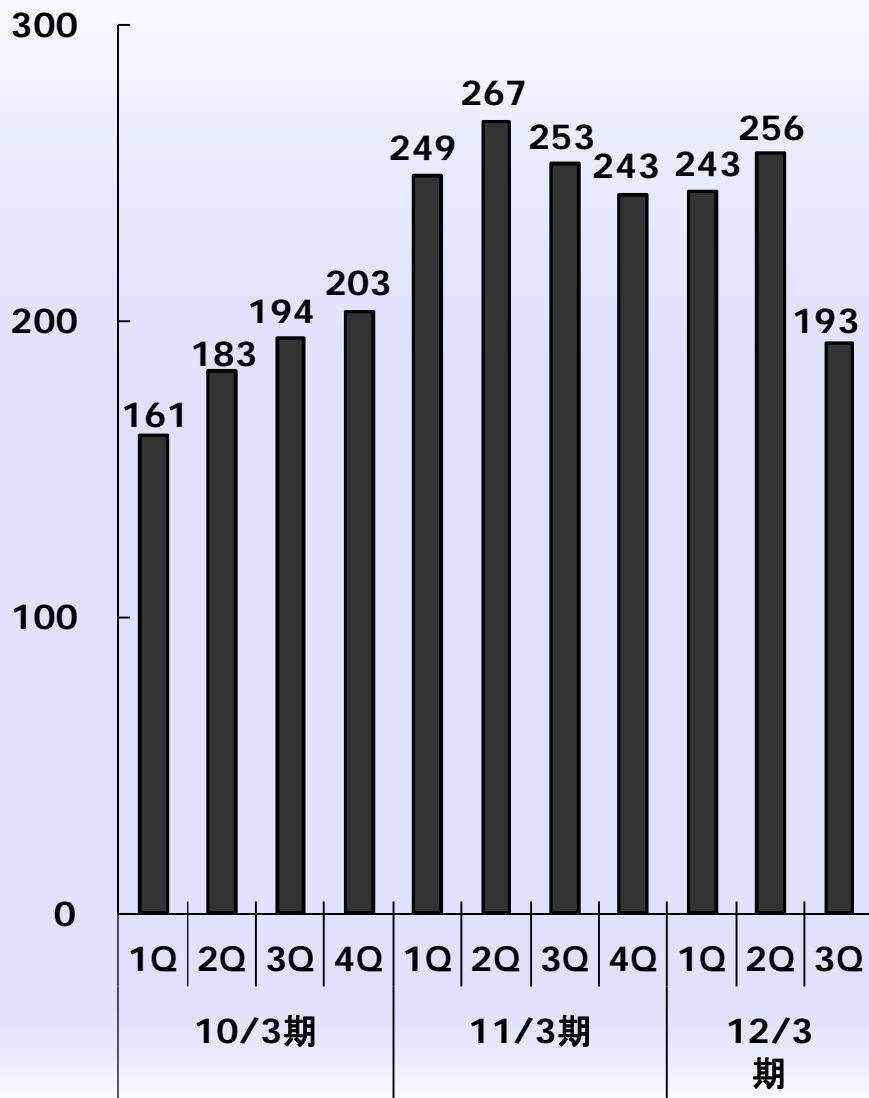
(億円)



※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

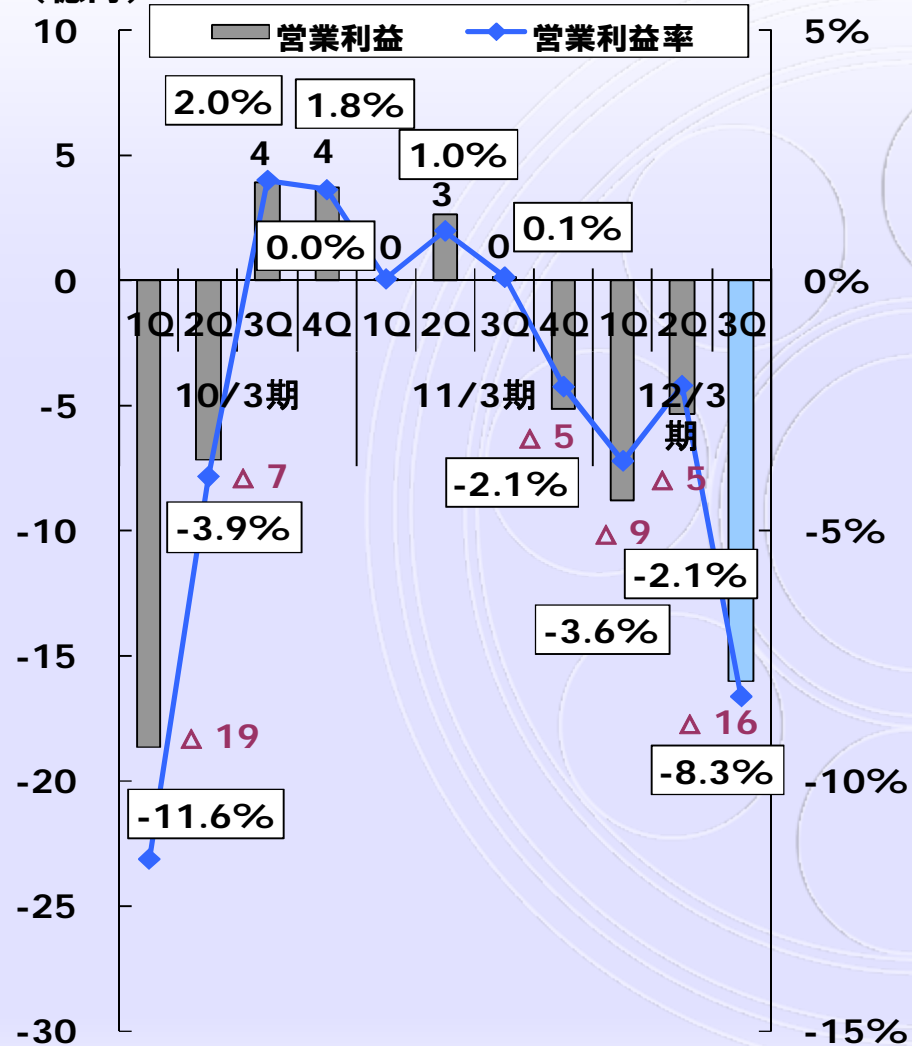
売上高

(億円)



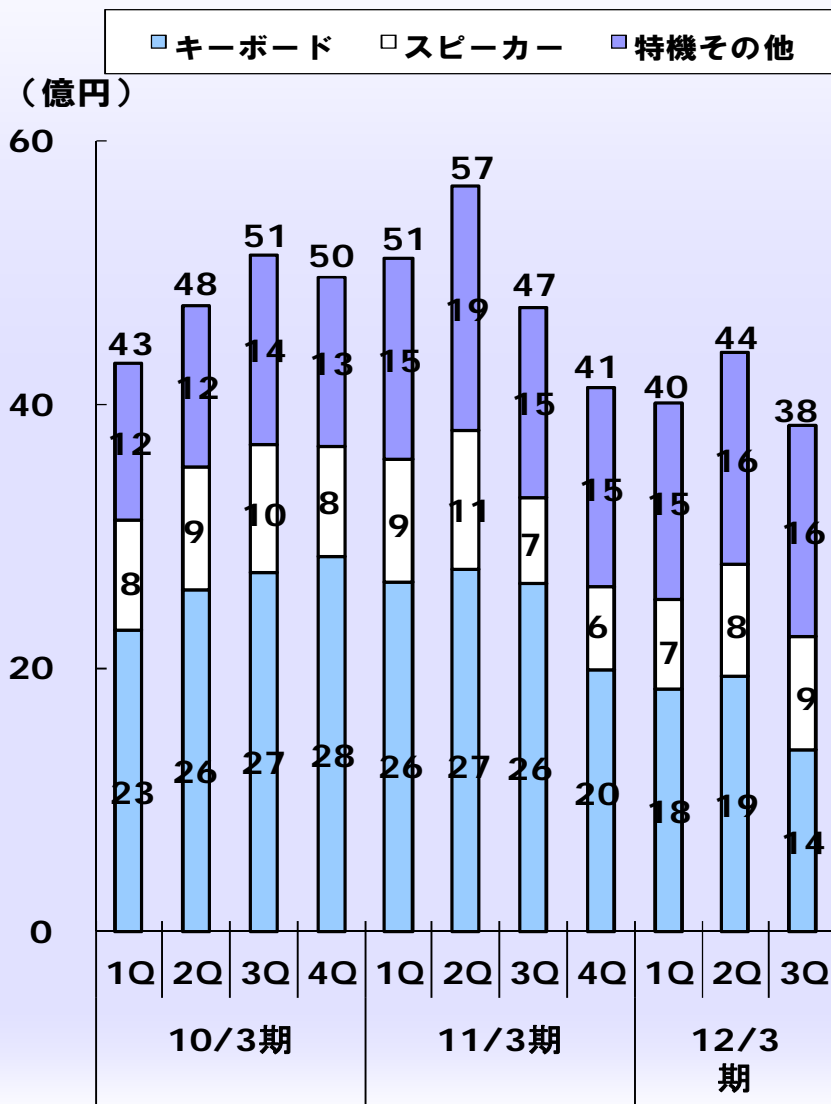
営業利益

(億円)

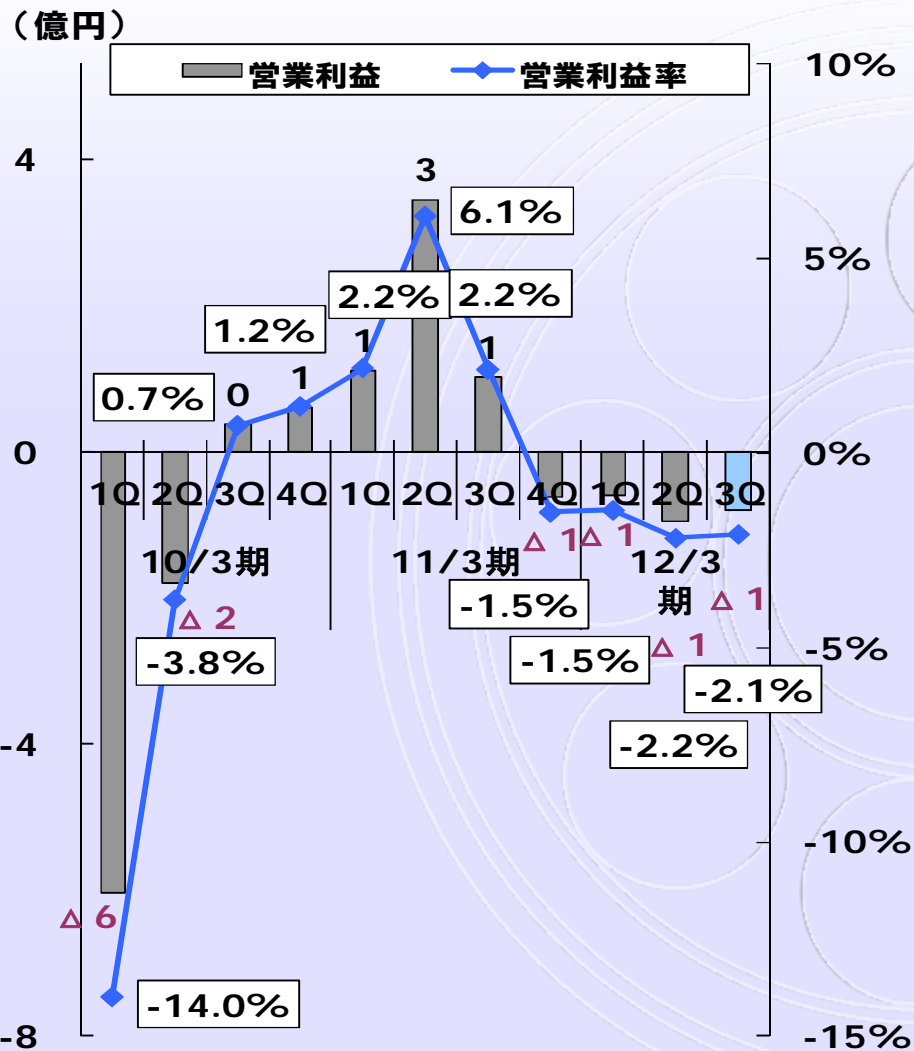


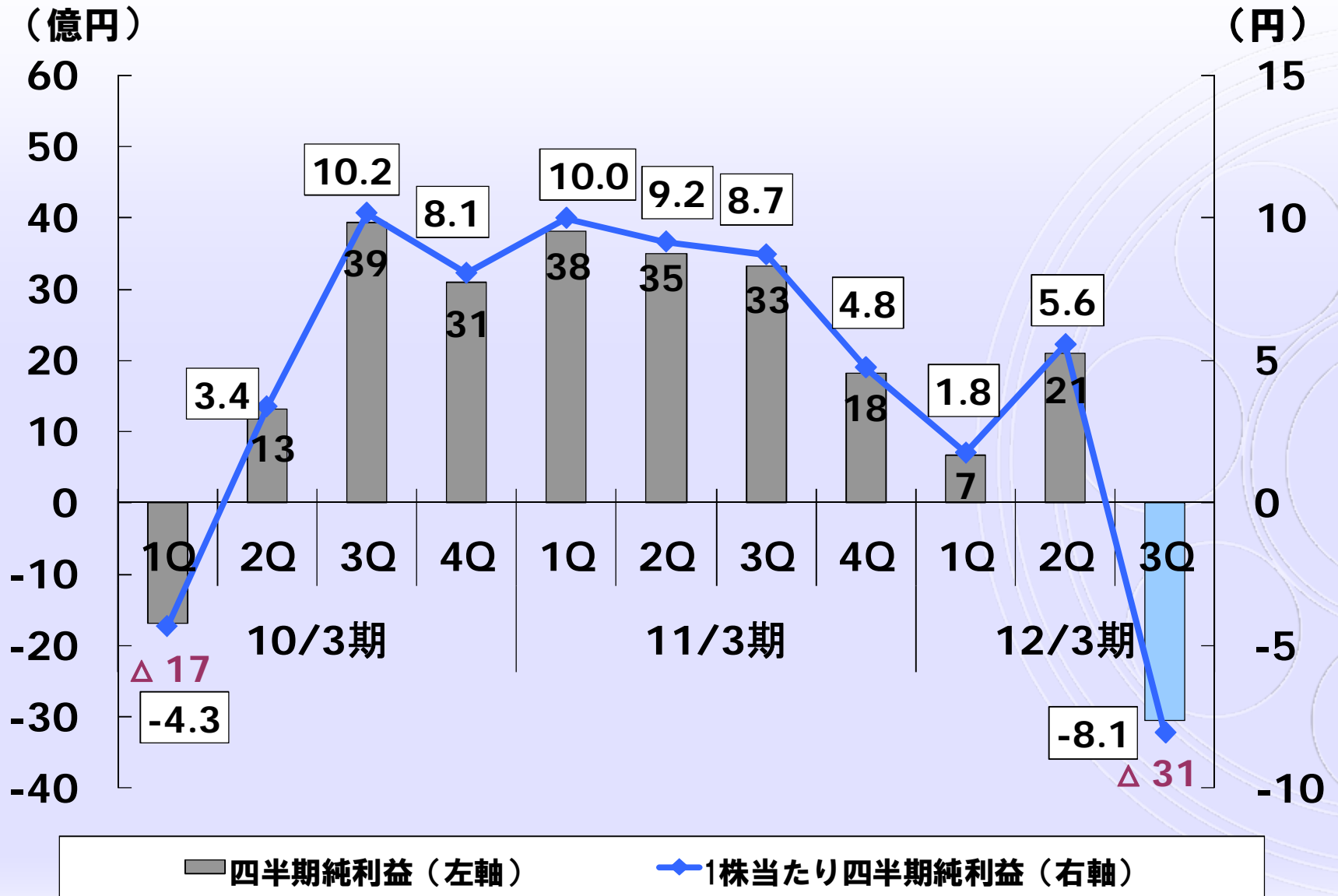
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

売上高

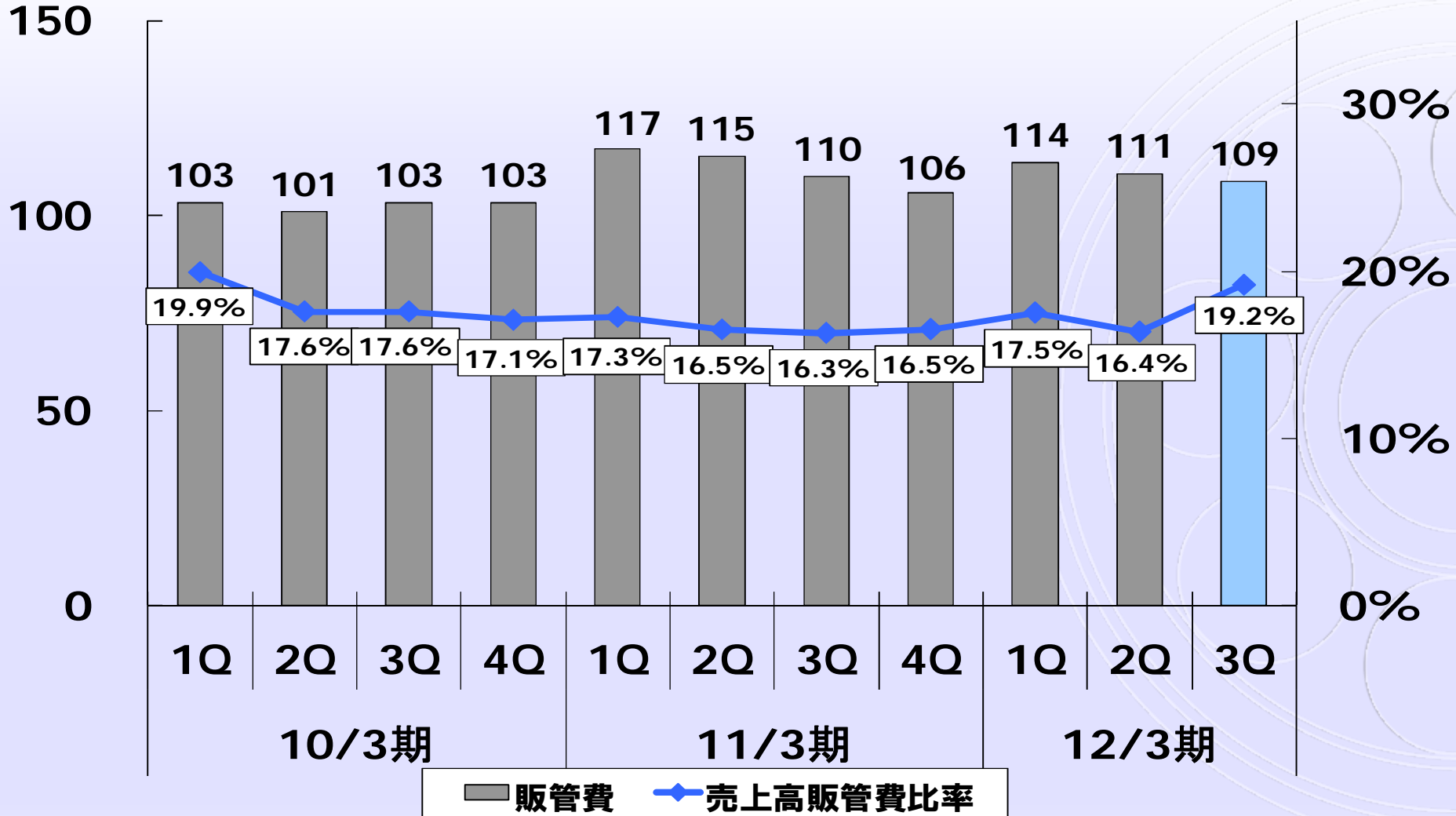


営業利益

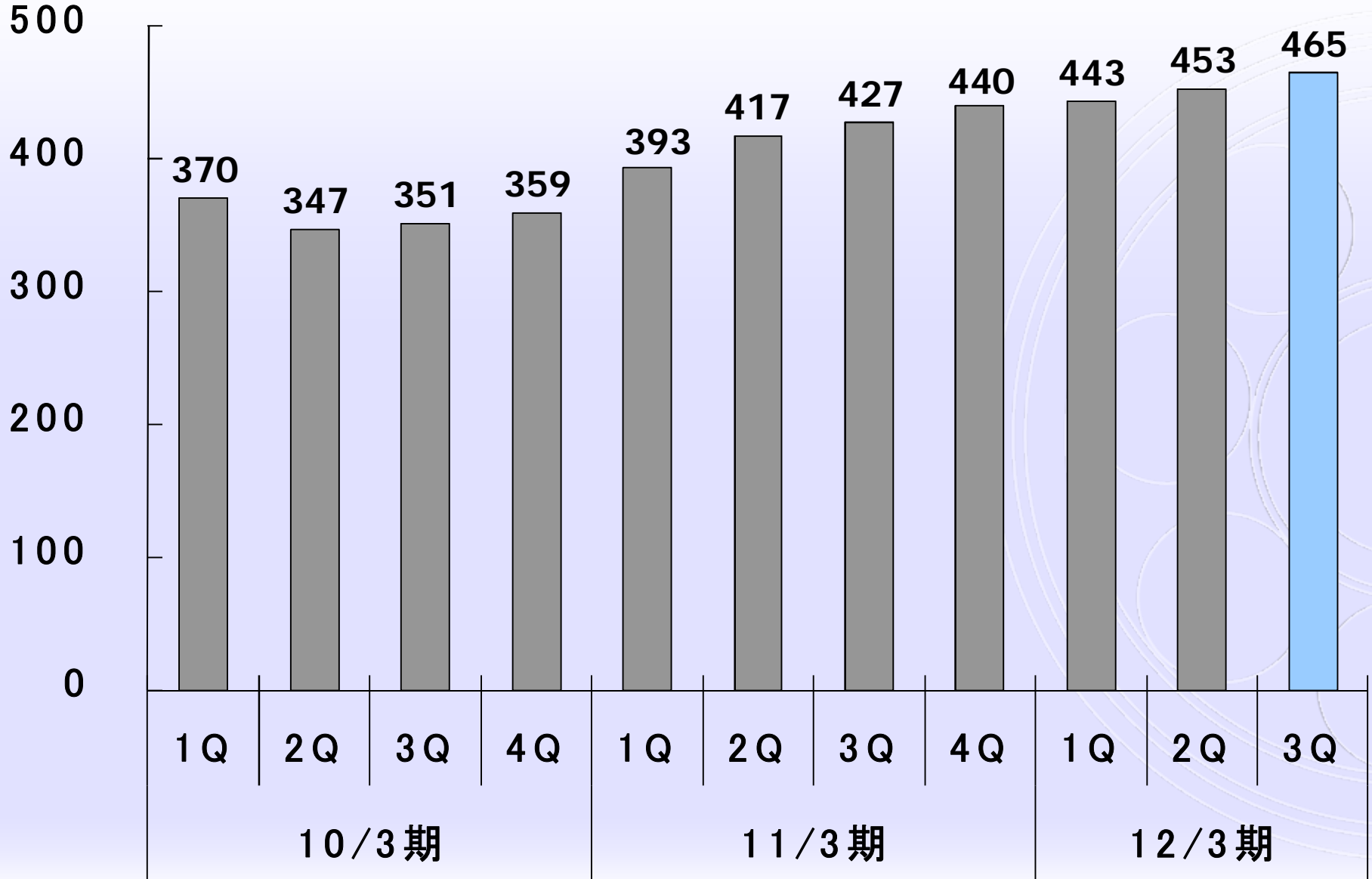




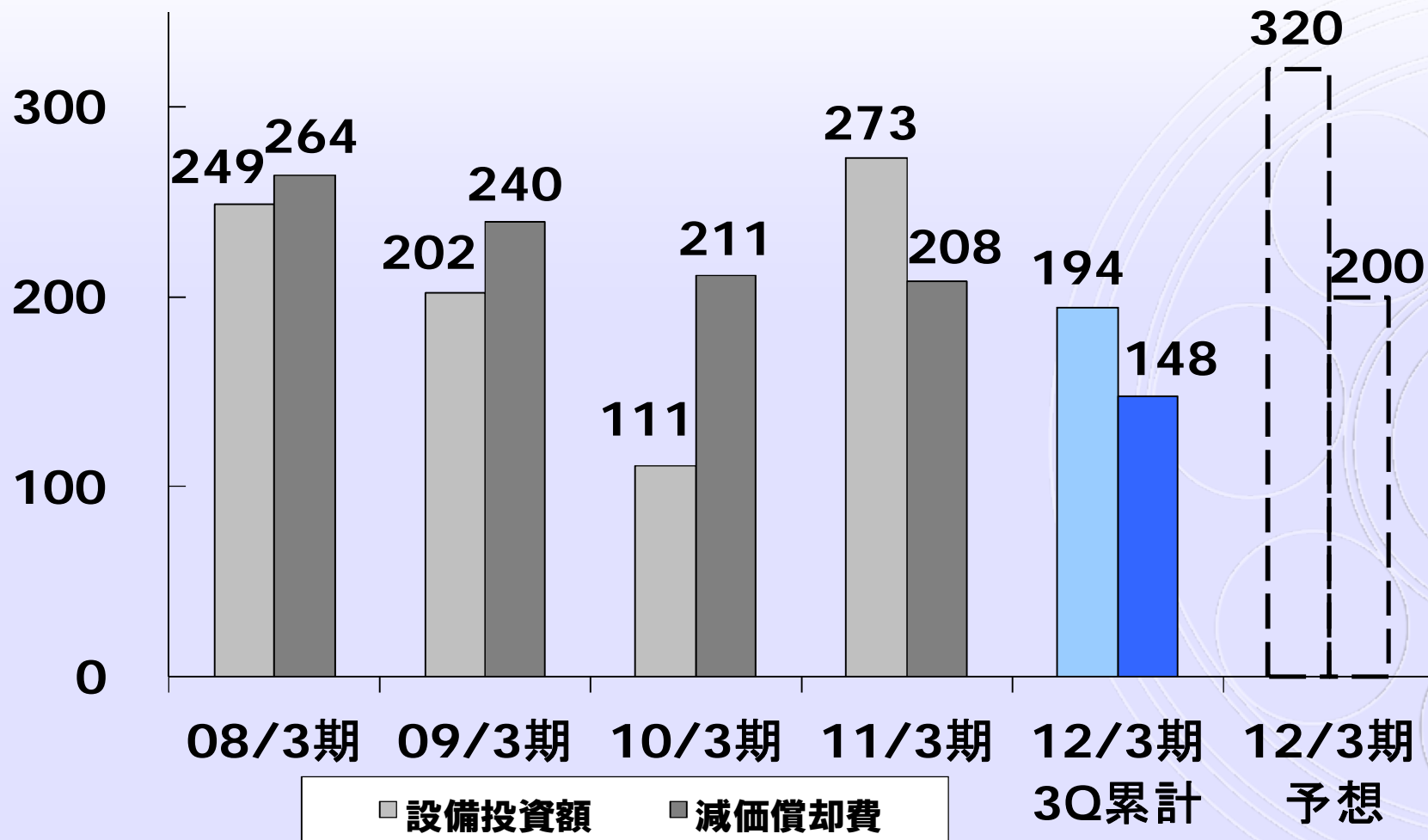
(億円)



(億円)



(億円)

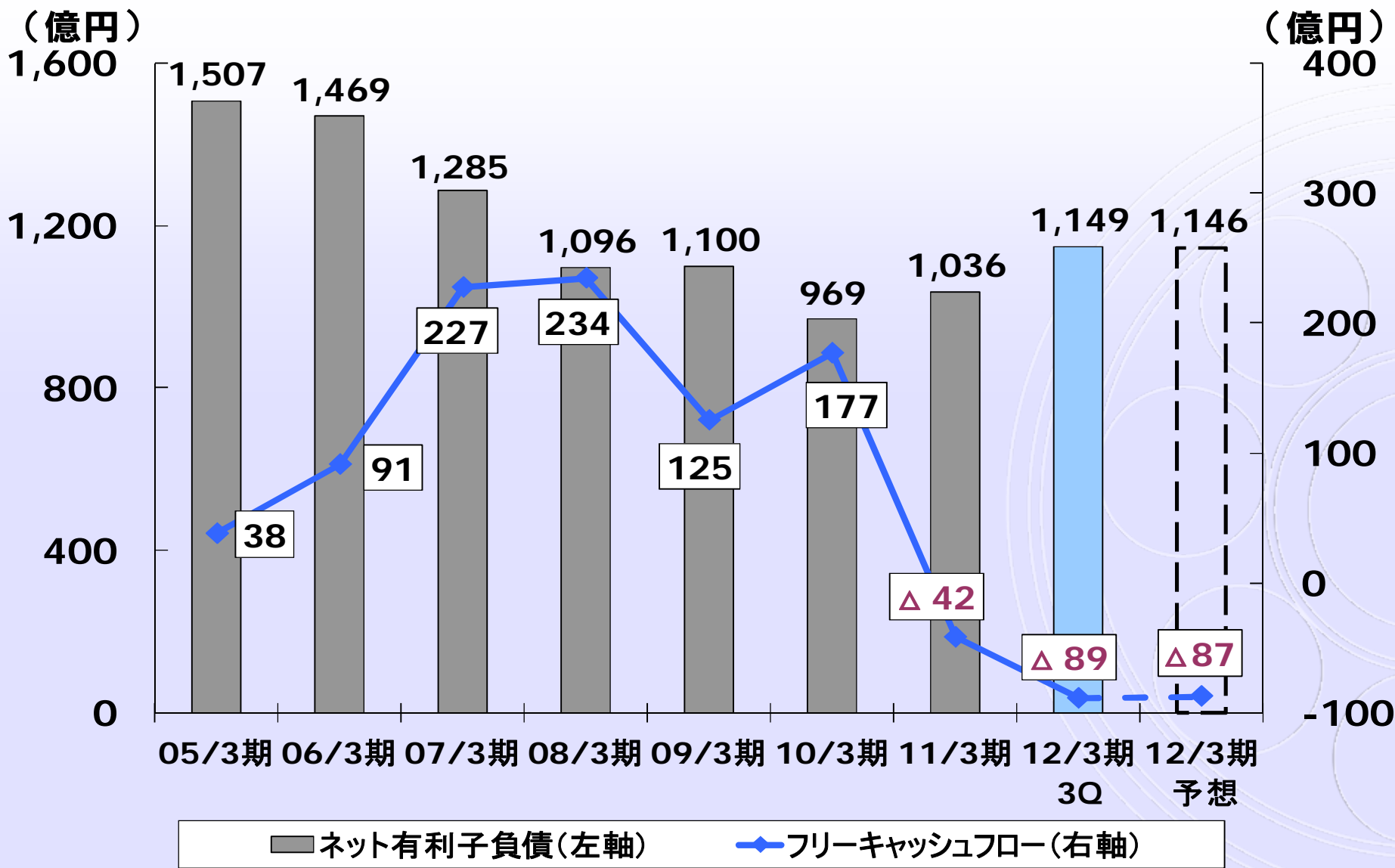


※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

ネット有利子負債

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

タイ大洪水の影響の広がりを受け、業績予想を下方修正

(百万円)	2011年3月期		2012年3月期		
	通期	修正予想	前期比	従来予想	増減額
売上高	269,139	255,000	-5.3%	263,000	△8,000
営業利益	22,163	9,500	-57.1%	12,000	△2,500
経常利益	20,364	7,000	-65.6%	10,000	△3,000
純利益	12,465	5,000	-59.9%	5,000	0
一株当たり 純利益 (円)	32.61	13.19	-59.6%	13.20	△0.01

為替レート	11/3期 通期	12/3期 通期想定
US\$	86.04円	78.75円
ユーロ	113.22円	110.13円
タイバーツ	2.75円	2.58円
人民元	12.78円	12.28円

12/3期通期 従来想定
78.12円
109.88円
2.56円
12.19円

(百万円)	2011年3月期		2012年3月期		
	通期	修正予想	前期比	従来予想	増減額
売上高	269,139	255,000	-5.3%	263,000	△8,000
機械加工品	107,841	106,000	-1.7%	106,700	△700
回転機器	101,139	92,500	-8.5%	99,300	△6,800
電子機器	40,502	42,000	+3.7%	43,600	△1,600
その他	19,657	14,500	-26.2%	13,400	1,100
営業利益	22,163	9,500	-57.1%	12,000	△2,500
機械加工品	28,088	25,400	-9.6%	26,400	△1,000
回転機器	△224	△4,200	N.M.	△3,100	△1,100
電子機器	4,160	250	-94.0%	900	△650
その他	498	△450	N.M.	△500	50
調整額	△10,358	△11,500	N.M.	△11,700	200

経営方針と事業戦略について

2012年 2月 3日

代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久

日本政策投資銀行との 大型買収案件に係る 共同投資フレームワークの設定

日本政策投資銀行との大型買収案件に係る共同投資フレームワークの設定

ポイント

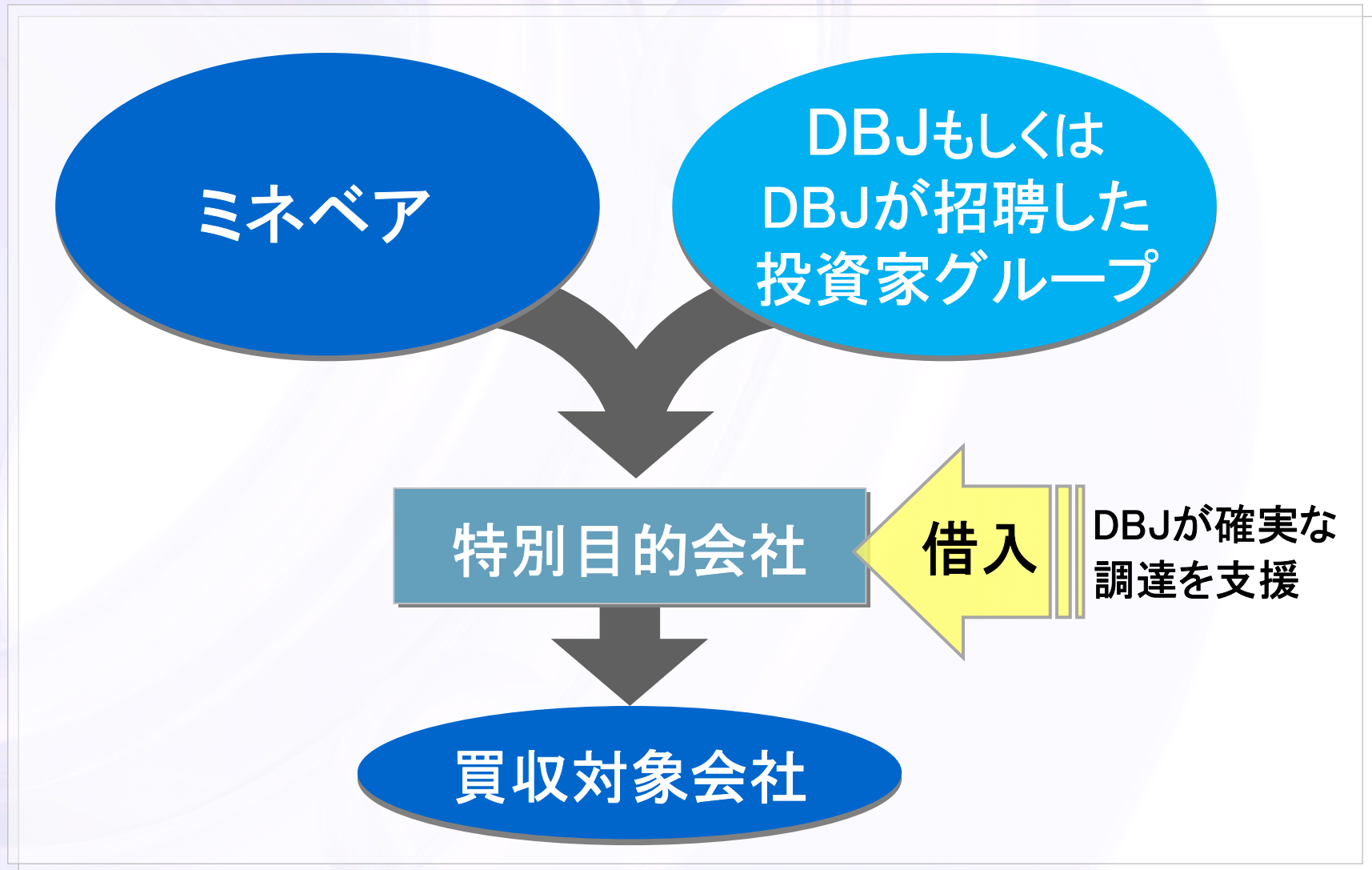
- ・ミネベアの一層の業績拡大に向け、機械加工品事業などの高収益事業分野における大きなシナジー効果が見込まれる買収案件実施に際し、日本政策投資銀行(DBJ)がノウハウ提供などの支援を行う。
- ・個別の大型買収案件での共同投資を行う(具体的な投資スキーム例は次スライド)。
- ・DBJとの共同投資により、買収対象企業の企業価値向上の促進と将来の子会社化に向けた戦略的自由度を確保する。
- ・銀行与信枠に影響を与えない形(劣後)での、DBJのミネベアへの資本参加。
- ・自己株式の有効活用と、安定化を図る。

新株予約権付社債のDBJへの割当

- ・転換社債をDBJへ割当て、DBJは満期まで保有するか、株式へ転換する。
- ・転換社債発行条件:総額77億円、5年債、発行価格100円、表面利率0.60%、
転換価格382円(現在2千万株保有する自己株式を充当する)。

具体的な投資スキーム(例)

共同投資のイメージ



キーボード事業の方針転換

キーボード事業の方針転換

完成品キーボード製造・販売から撤退する

- ・ 3Q決算で、特別損失を11億円計上。一方で、税務上の累積損失があるため、4Q決算で繰延税金資産を48億円計上する予定。

競争力のある部品(メンブレン)製造は継続する

- ・ 製造設備のあるSST社(上海)の規模を縮小し、メンブレン製造に特化する。

なお、キーボード、ライティングデバイス、ワイヤレス技術、計測機器などの複数の事業部にまたがる技術を組み合わせた新しい入力デバイス(COOL LEAFを含む)の技術開発・製造は、今後も複合製品事業部が担当。

新中期事業計画

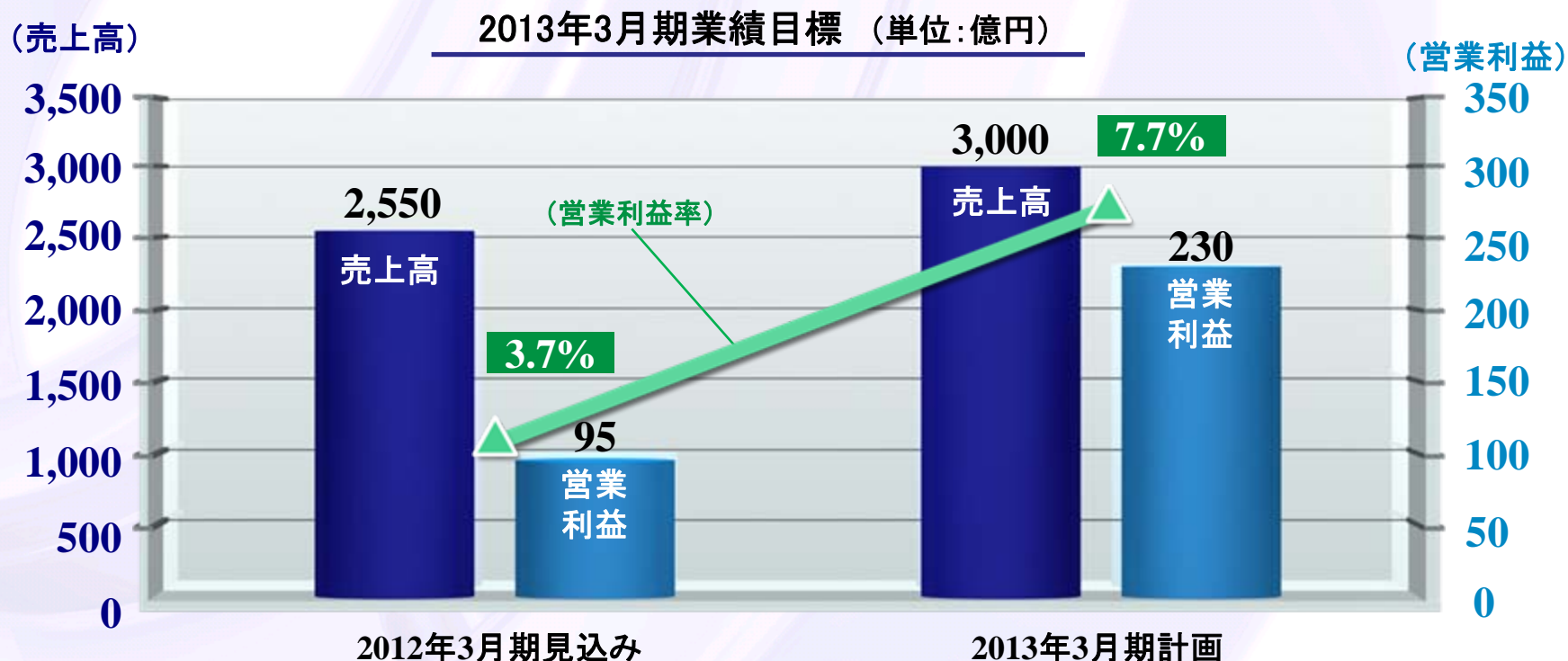
業績急回復(2013年3月期)

販売急回復 — 東日本大震災、タイ大洪水影響解消

ボールベアリング、ピボット収益拡大 — ピボットシェアアップ

HDDスピンドルモーター完全黒字化 — 生産回復と販売拡大

LEDバックライト収益拡大 — スマートフォン、タブレットPC向け販売急拡大



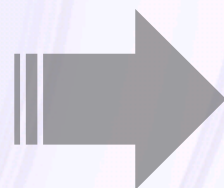
新中期事業計画(2013～15年3月期)

前中期事業計画立案時との相違点

為替環境の激変(円高、US\$安、アジア通貨高)

前中期事業計画為替前提

90円/US\$	132円/ユーロ
2.65円/パーツ	13円/人民元



新中期事業計画為替前提

77円/US\$	103円/ユーロ
2.5円/パーツ	12.2円/人民元

モーター事業回復の遅れ(レアアースや円・人件費の高騰)

HDD市場想定違い(年率二桁%成長 → 横ばい + α 程度)

LEDバックライト販売急拡大

新中期事業計画業績目標(2013~15年3月期)

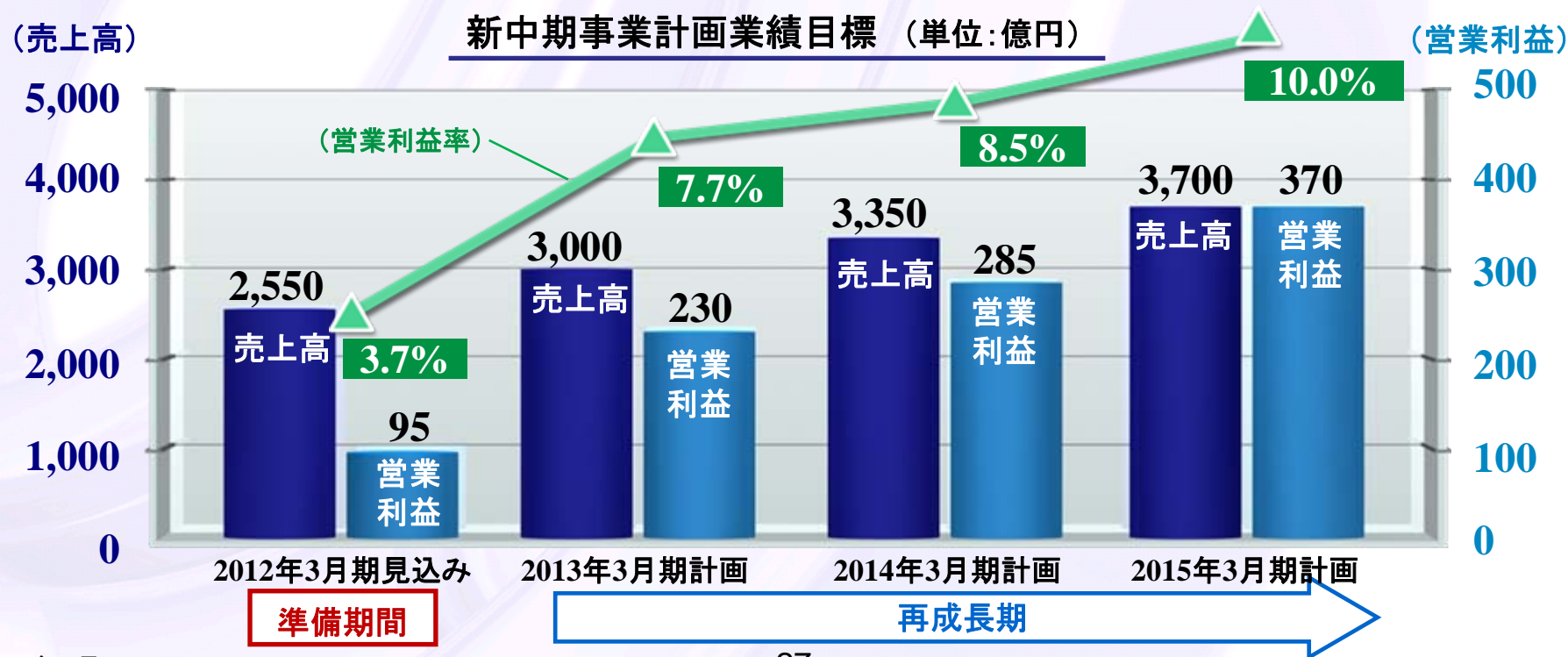
激変するビジネス環境に対応 — 高収益の機械加工品事業を更に拡大

LEDバックライト収益拡大 — スマートフォン、タブレットPC向け販売急拡大

モーター事業は収益貢献へ

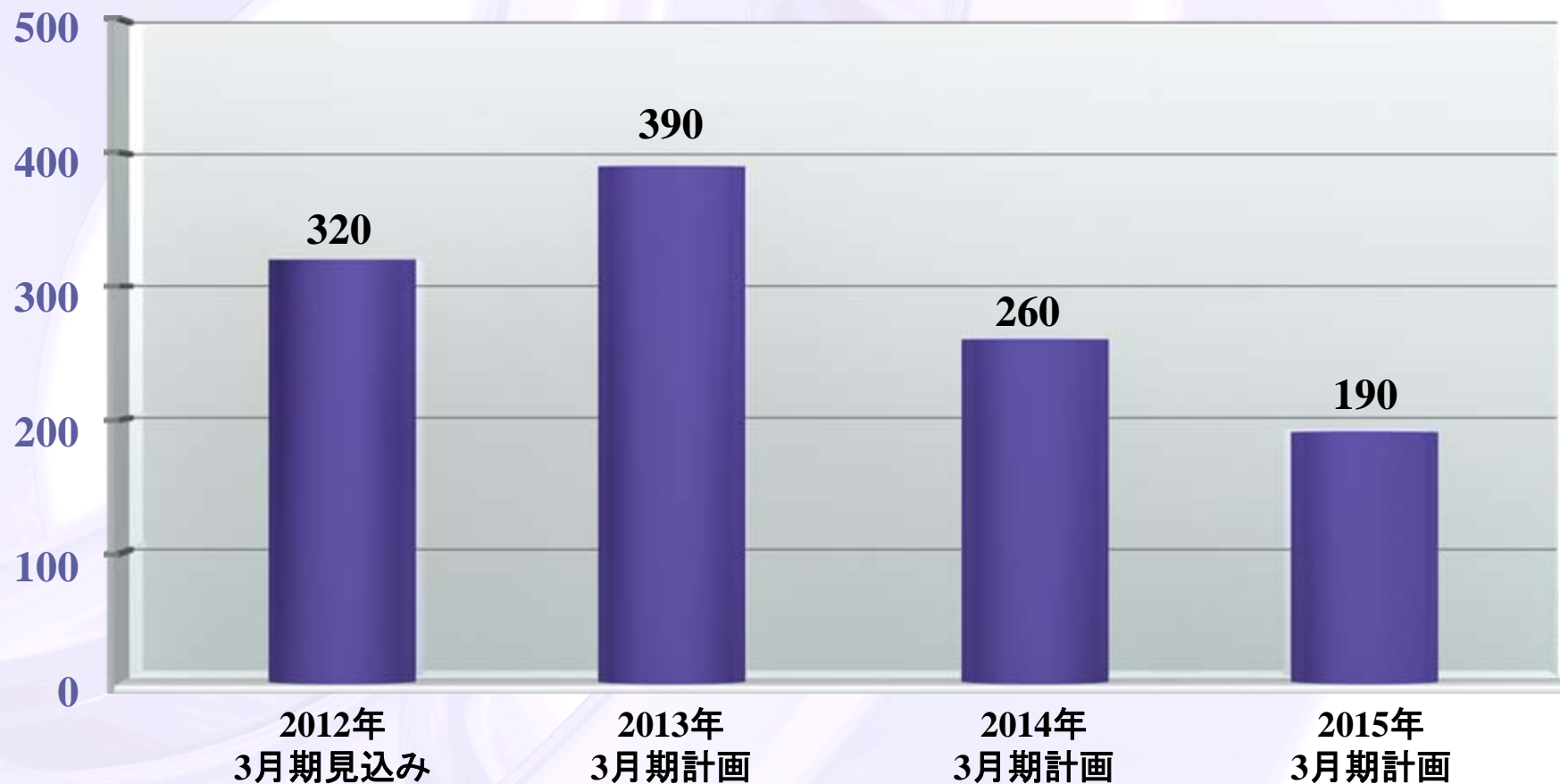
積極的なM&Aによる更なる拡大

— 各買収決定後、中期事業計画に逐次反映予定



3年間で 840億円の設備投資を計画

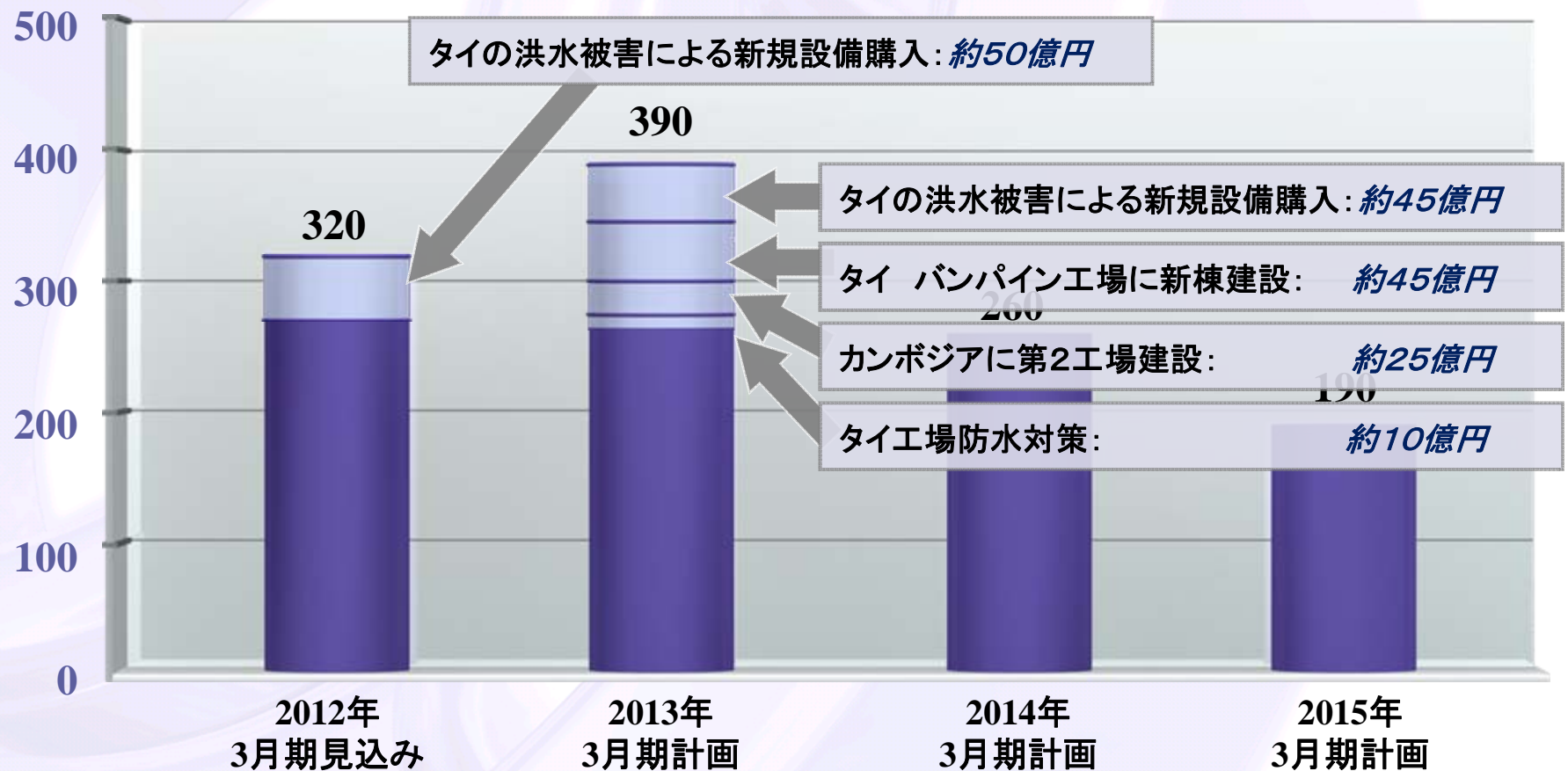
新中期設備投資計画 (単位:億円)



新中期設備投資計画

3年間で 840億円の設備投資を計画

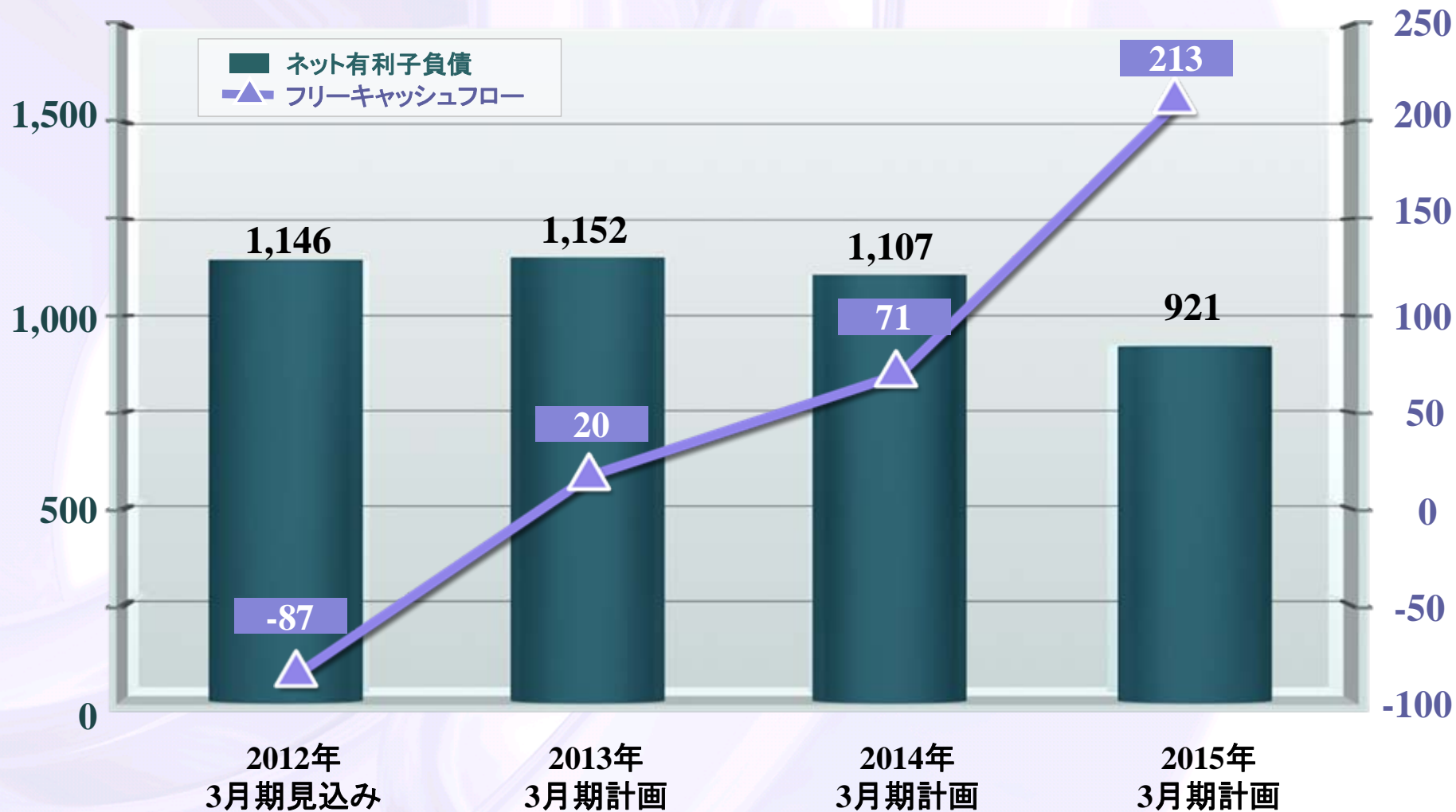
新中期設備投資計画 (単位:億円)



新中期ネット有利子負債計画

ネット有利子負債
(単位:億円)

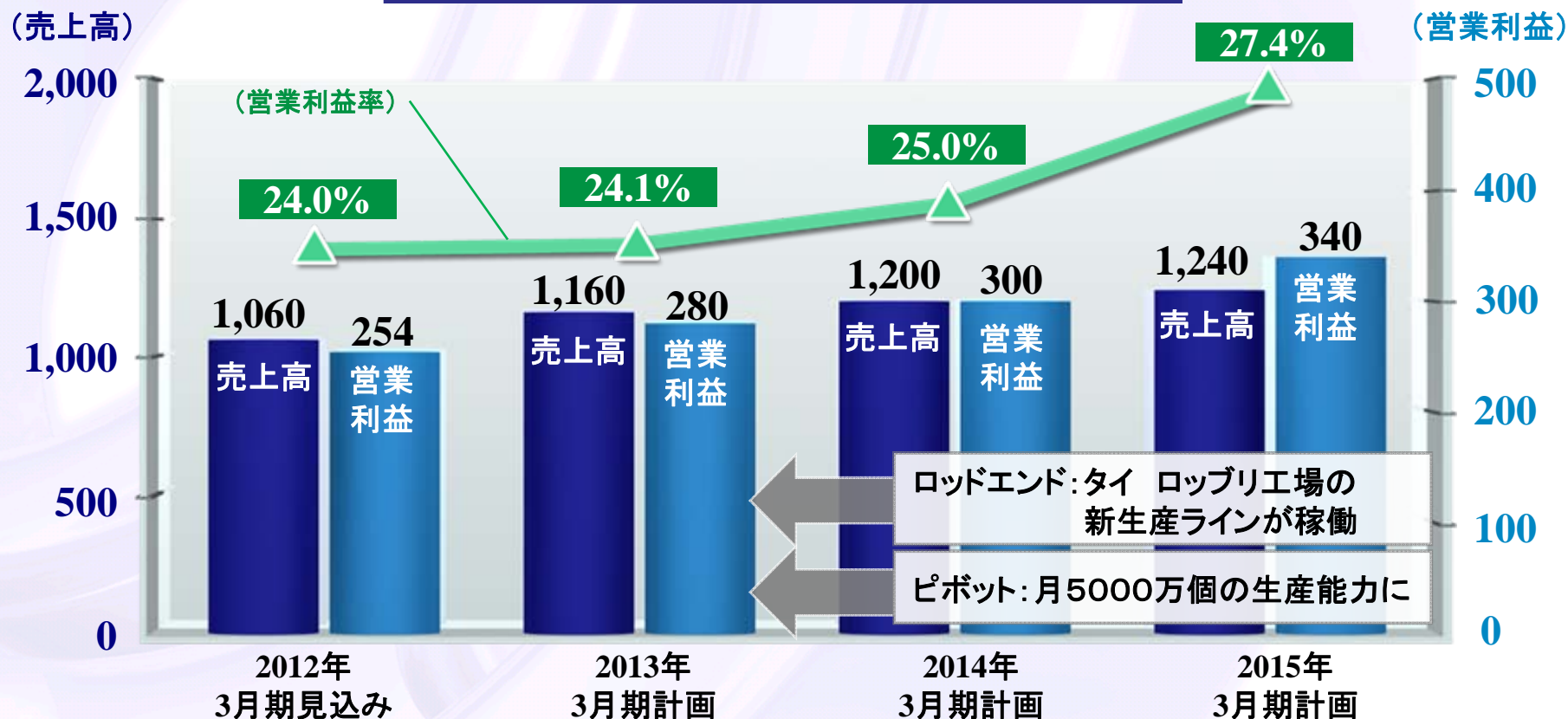
フリーキャッシュフロー
(単位:億円)



機械加工品事業セグメント

- ボールベアリング生産能力拡大 — 市場の着実な成長
- ピボットシェアアップ
(ピボット向けボールベアリング月1億個、ピボット月5000万個へ拡大)
- タイでのロッドエンド生産能力増強 — 拡大する航空機市場

機械加工品事業セグメント業績目標 (単位:億円)



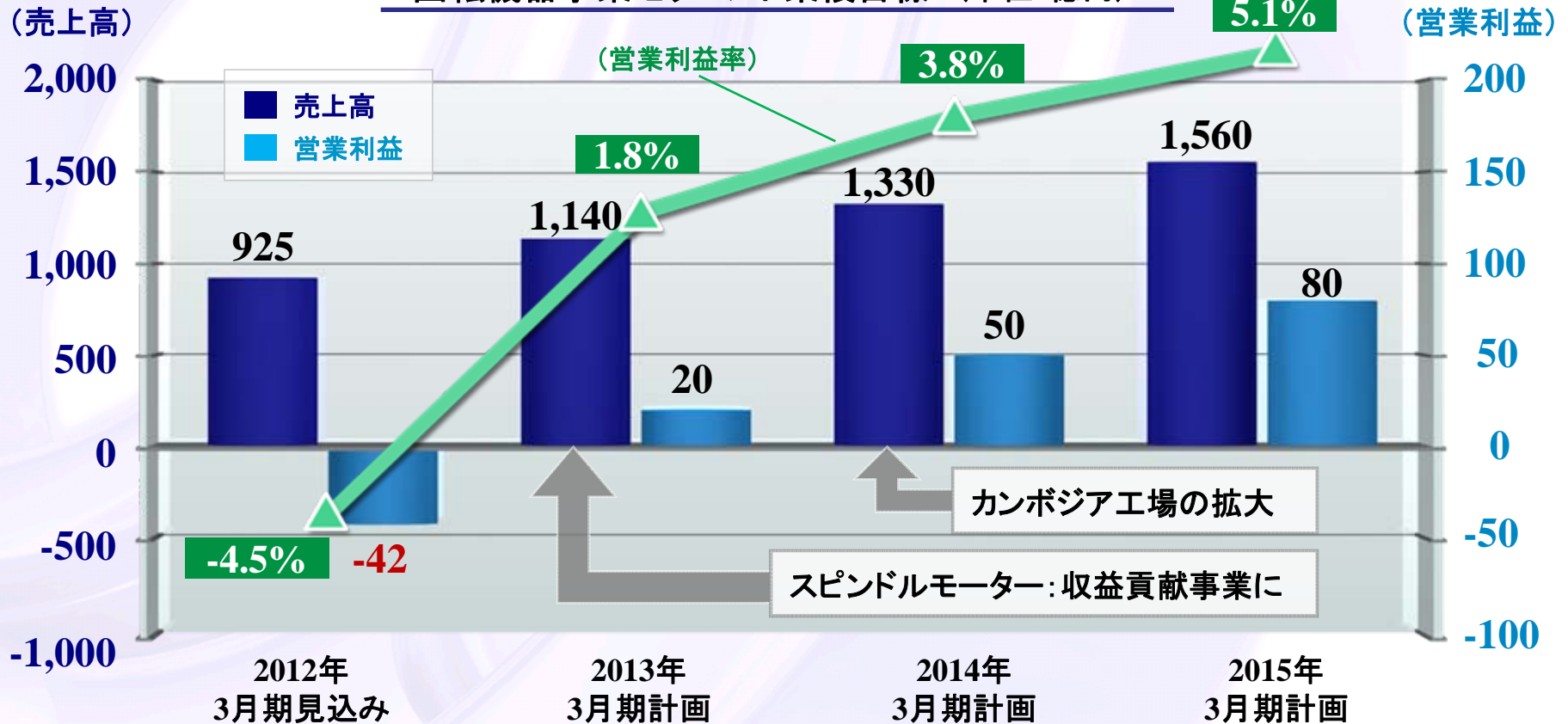
回転機器事業セグメント

■モーター事業は収益貢献へ

■コスト競争力強化

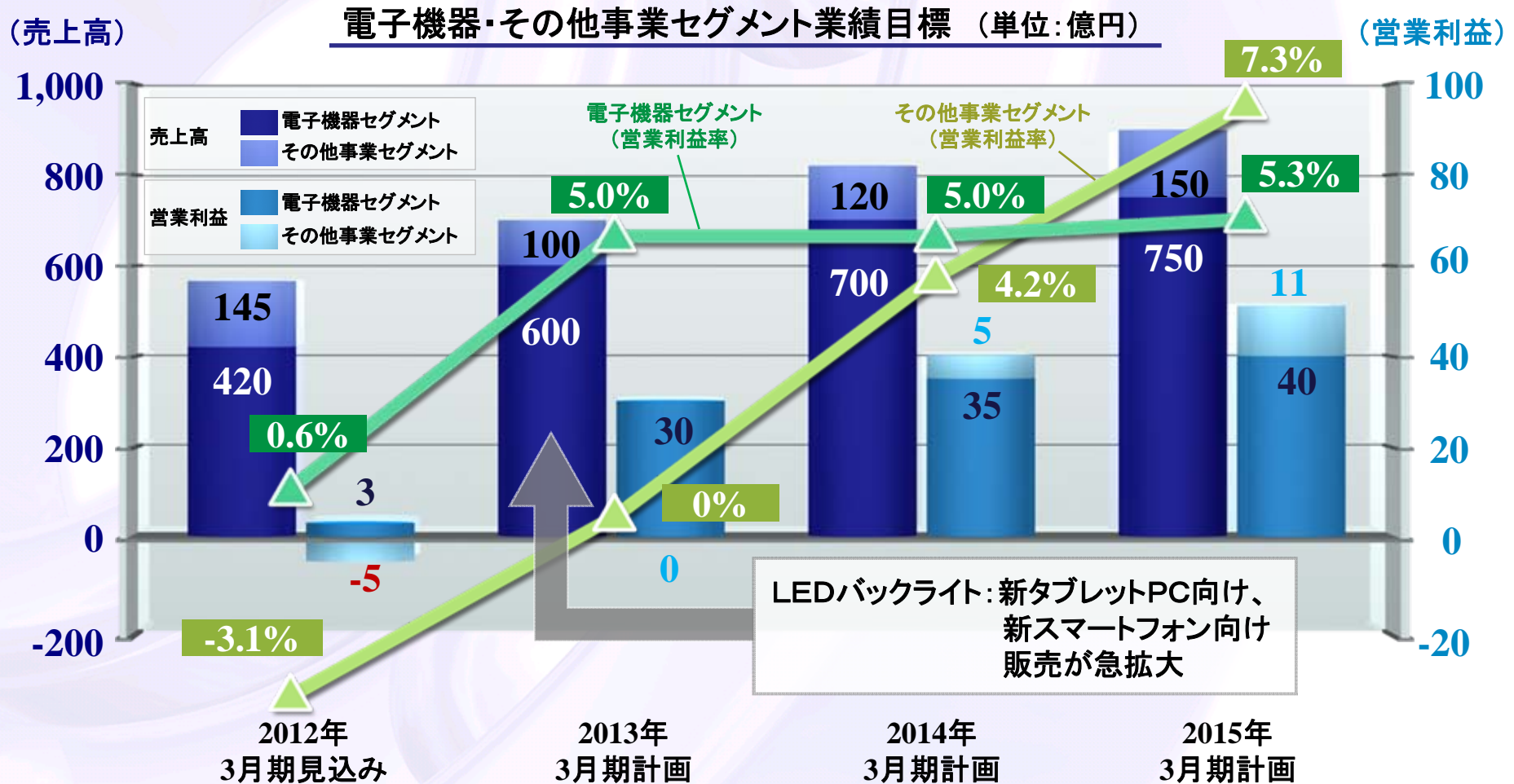
(カンボジア工場拡大、垂直統合生産の改善、中国R&D機能拡充)

回転機器事業セグメント業績目標 (単位:億円)



電子機器・その他事業セグメント

- LEDバックライト収益拡大 — スマートフォン、タブレットPC向け販売急拡大
- 計測機器販売拡大 (自動車向け、医療機器向け、中華圏向け)



東日本大震災で両親を失った子供たちへの支援

- 育英基金を設置し、孤児を支援
(ミネベア60周年記念事業予算を充当)
- 今後10年間で、2億3千万円を拠出

タイ大洪水で被災した従業員への支援

- グループ従業員のうち、被災者14,000名強
(タイ全従業員の半分近く)に見舞金を支給

タイ大洪水時にバンパイン工場を守った
堤防の設置と従業員



ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。